

ゼンショーグループは
地の果て 海の果つるところまで
MMDシステムをつくります。

誰もが自分自身の視野の限界を、
世界の限界だと思い込んでいる。

ショーベンハウアー

高知県 室戸岬灯台と太平洋

2024年3月期 第2四半期

中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

ZÉNSHO

株式会社 ゼンショーホールディングス

目次

トップメッセージ	… 1
財務ハイライト	… 2
セグメント別ハイライト／概況	… 3・4
トピックス	… 5・6



株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長

小沢 賢太郎

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2024年3月期の上期（2023年4月1日から2023年9月30日）は、原材料・エネルギー価格の高止まりなどで先行きが不透明な事業環境が続きました。一方で、パンデミックの収束が進み、経済活動の正常化に伴い個人消費が回復し、当社では連結で増収増益となりました。つきましては、株主様の日頃のご支援に報いるため、中間配当金を1株につき当初予想より5円増配して25円とすることを決定いたしました。

上期にハンバーガーチェーンの「株式会社ロッテリア」、北米及びイギリスを中心に日本食事業を運営する「SnowFox Topco Limited」がグループに加わりました。ゼンショーグループの強みは、外食、小売、介護、食材調達など様々な成長エンジンがあることです。今後もグループ全体での相乗効果の追求と業容の拡大を行いながら、フード業世界一の企業を目指してまいります。

また、日本発祥の世界企業としてグローバル展開を進めていくにあたり、社員の日本文化への理解を深めるため、京都にある日本文化研修センター「松濤居」で研修を実施しています。地球規模では、経済問題、宗教や文化の違いなどで各国間の紛争や戦争が絶えません。研修を通じて、相手を思いやり、敬意の念をもって接する精神を学ぶことで、様々な対立を乗り越え、事業を通じ当社をより成長・発展させるとともに、人類社会の安定と発展に貢献できる企業となるべく、役職員一同努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、人類社会全体の安定と発展に責任をおり、世界から飢餓と貧困を撲滅する理念とともに実現するパートナーとして、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（ご参考）2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
9,600 億円 前年同期比 23.1%増	510 億円 前年同期比 134.7%増	480 億円 前年同期比 70.9%増	300 億円 前年同期比 126.2%増	192円53銭

売上高

4,526億 10百万円

前年同期比 20.5%増



営業利益

253億 95百万円

前年同期比 211.6%増



経常利益

244億 20百万円

前年同期比 78.0%増



親会社株主に帰属する四半期純利益

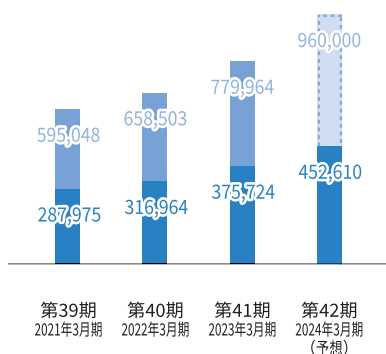
157億 14百万円

前年同期比 113.5%増



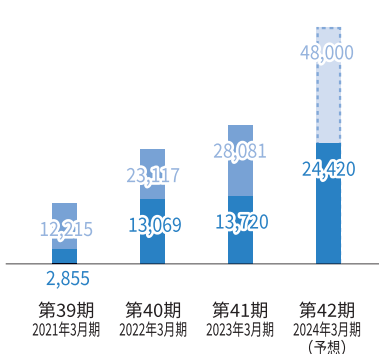
売上高

(単位：百万円)

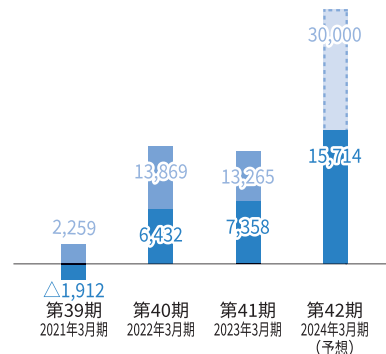


経常利益

(単位：百万円)

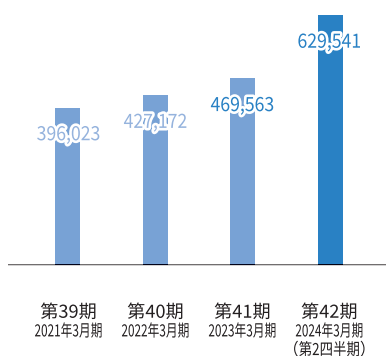


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



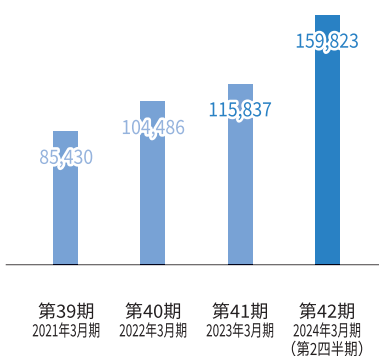
総資産

(単位：百万円)

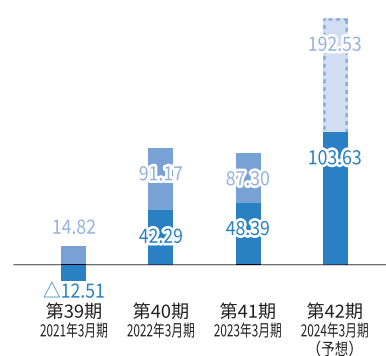


純資産

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



※配当につきましては、中間配当は当初予想より1株当たり5円増配の25円、期末配当も1株当たり25円とし、年間では50円を予定しております。

通期

第2四半期

■ グローバルすき家

「グローバルすき家」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,317億31百万円(前年同期比21.7%増)、営業利益は、101億33百万円(同365.2%増)となりました。

「すき家」は、日本国内と中国、東南アジア及び中南米に展開しており、ご家族やグループのお客様にもご利用いただけるよう、主力の牛丼を中心に安全で美味しい商品を手軽な価格で提供しております。

国内すき家では、「明太マヨチーズ牛丼」、「月見すきやき牛丼」、「ねぎ塩レモン牛丼」などを販売し、中国のすき家では、「菜の花ゴマダレ牛丼」、「四季豆牛丼」などを販売いたしました。

なお、当報告セグメントの当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、50店舗出店、40店舗退店した結果、2,623店舗(国内1,945店舗、海外678店舗)となりました。

■ グローバルはま寿司

「グローバルはま寿司」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、938億32百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は、49億10百万円(同19.1%増)となりました。

「はま寿司」は、日本と中国などに展開しており、新鮮な海産物を使用した寿司に加え、麺類やデザート、ドリンクなどのサイドメニューも充実させており、お子様から大人まで楽しんでいただいております。

なお、当報告セグメントの当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、25店舗出店、1店舗退店した結果、637店舗(国内588店舗、海外49店舗)となりました。

■ グローバルファストフード

「グローバルファストフード」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、994億58百万円(前年同期比30.4%増)、営業利益は、50億11百万円(同22.1%増)となりました。

「なか卯」は、親子丼・京風うどんを中心に、専門店にも負けない商品を提供しております。そのほか国内では、2023年4月1日よりグループ入りしたハンバーガーチェーンの「ロツテリア」、とんかつ専門店の「かつ庵」、武蔵野うどんの「久兵衛屋」などを展開しております。そのほか海外で展開する、寿司テイクアウトのAdvanced Fresh Concepts Corp. や2023年5月23日よりグループ入りしたSushi Circle Gastronomie GmbH、

ハラル認証を取得したチキンライズ専門店TCRS Restaurants Sdn.Bhd.などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、2023年9月15日にグループ入りしたSnowFox Topco Limitedが含まれており、190店舗出店、56店舗退店した結果、10,130店舗(国内1,001店舗、海外9,129店舗、FC7,521店舗含む)となりました。

■ レストラン

「レストラン」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、689億17百万円(前年同期比25.6%増)、営業利益は、32億66百万円(前年同期は営業損失11億27百万円)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、季節感を重視したフェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準を高め、業績の向上に努めてまいりました。そのほかにパスタ専門店の「ジョリーパスタ」、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、本格イタリアンレストランの「オリーブの丘」、和食レストランの「華屋与兵衛」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、15店舗出店、19店舗退店した結果、1,200店舗(国内1,199店舗、海外1店舗、FC78店舗含む)となりました。

■ 小売

「小売」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、391億91百万円(前年同期比1.6%増)、営業損失は、マネジメント体制や仕入の見直しを行い、赤字額が縮小いたしました。7億98百万円(前年同期は営業損失14億42百万円)となりました。

北関東中心に展開しているスーパーマーケット「マルヤ」、「ジョイフーズ」などのほか、青果販売等を行っている株式会社ユナイテッドベジーズなどが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第2四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、2店舗出店、1店舗退店した結果、133店舗となりました。

■ 本社・サポート

「本社・サポート」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、21億25百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は、29億67百万円（同793.8%増）となりました。

食品の製造・加工を担う株式会社GFF、物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等が当報告セグメントに含まれております。

■ その他

「その他」の当第2四半期連結累計期間の売上高は、173億54百万円（前年同期比9.0%増）、営業損失は、76百万円（前年同期は営業損失1億11百万円）となりました。

家庭用冷凍食品販売の株式会社トロナジャパン、醤油やドレッシングなどの製造・販売を担う株式会社サンビン、介護事業を運営する株式会社輝、玄米・精米の販売を行っている株式会社ゼンショーライス等が含まれております。

セグメント別売上高構成比

当社グループの代表的な子会社及び業態のロゴマークを記載しております。

その他

173億 54百万円
（グループ売上シェア **3.8%**）

■ 主なブランド



本社・サポート

21億 25百万円
（グループ売上シェア **0.5%**）

■ 主なブランド



小売

391億 91百万円
（グループ売上シェア **8.7%**）

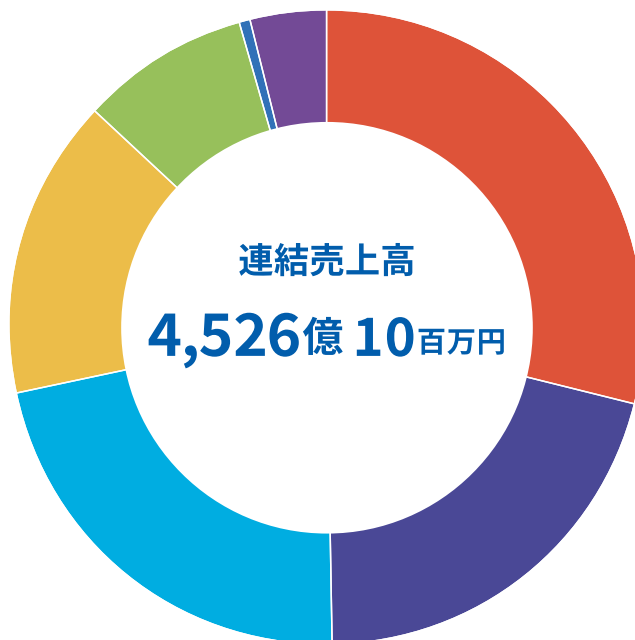
■ 主なブランド



レストラン

689億 17百万円
（グループ売上シェア **15.2%**）

■ 主なブランド



グローバルすき家

1,317億 31百万円
（グループ売上シェア **29.1%**）



グローバルはま寿司

938億 32百万円
（グループ売上シェア **20.7%**）



グローバルファストフード

994億 58百万円
（グループ売上シェア **22.0%**）

■ 主なブランド



TOPICS
1

関西国際空港に ココスが新業態をオープン



店舗入口 風神雷神がお出迎え



尾形光琳 八橋図屏風



平松礼二 フランス屏風 春の曲、秋の曲

2023年4月28日、関西国際空港第2ターミナルビルにココス Airport Dining 関西国際空港店がオープンしました。新コンセプトのココスでは、安全で快適な旅を祈願し、天候を司る風神雷神の壁紙がお客様をお出迎えます。また、店内は海外のお客様にも日本の四季を感じていただけるような空間を演出しています。空港店限定メニューもご用意しています。関西国際空港をご利用の際は、ぜひココスへお越しください。



空港店限定メニュー



テイクアウト
ワンハンドピッツァ
マルゲリータ
421円(税込)



いちごミルクのかき氷
539円(税込)



長ネギときのこの
照り焼き風包み焼きハンバーグ
1,309円(税込)

TOPICS 2

子どもたちへ職を 体験する場を提供

2023年5月、ゼンショーかがやき子ども財団が、児童養護施設で暮らす子どもたちを対象に、ジョイフーズ関宿次木店で田植え体験やスーパーでの仕事体験を実施しました。食に関わる仕事の体験を通じ、子どもたちに将来の進路や仕事、生活について考えてもらうための場を提供することが目的です。



一般財団法人
ゼンショーかがやき子ども財団



当社グループ「ジョイフーズ 関宿次木店」敷地内にある田んぼで田植え体験



果物のカット体験をしている様子



ゼンショー社員からリュック・文房具などを受け取る子ども



ZENSHO FAIR TRADE — ネパール —

笑顔の先に夢を育む

ネパールでは紅茶のフェアトレードから生まれる社会開発資金※を原資にした奨学金制度「ゼンショー・スカラーシップ・プロジェクト」によって、2022年までの7年間で累計621名の子どもたちに文具や学習費が届けられてきました。

今年の文具贈呈式には65名が参加。その一人ひとりにゼンショーのフェアトレード部員が通学用リュックや文房具などを手渡しました。リュックを背負った時や帰り際に手を振ってくれた時の子どもたちの笑顔が印象的でした。今後も夢の実現に努力する子どもたちの背中を押す支援を続けていきます。

※ 社会開発資金・・・商品価格の中で、現地の人々の生活改善などに充てるために使用される部分の金額のこと。



受け取ったリュックを背負う子ども



リュックを大事そうに抱える子ども

株主優待制度

当社では皆様の日頃のご厚情に感謝し、100株以上保有の株主の方に、当社グループ店舗でお使いいただける「株主様お食事ご優待券」をお届けしています。



100株以上300株未満	1,000円分（500円券×2枚）
300株以上500株未満	3,000円分（500円券×6枚）
500株以上1,000株未満	6,000円分（500円券×12枚）
1,000株以上5,000株未満	12,000円分（500円券×24枚）
5,000株以上	30,000円分（500円券×60枚）

ご優待券をご利用いただけるお店



代替品について

300株以上保有の株主様は、代替品交換制度をご利用いただけます。（代替品の一例）



定められた期限内に未使用で最新の株主優待券（3,000円分）をご返送いただくと、ゼンショーグループのオリジナル商品との交換が可能です。

※詳細は株主優待券同封の「株主様お食事ご優待券のご案内」をご覧ください。

ゼンショーグループ公式通販ショップのご紹介

ゼンショーグループの商品はこちらの公式通販サイトからご購入いただけます。



ZENSHO
net store
ゼンショーネットストア



ゼンショーサポーターズクラブ[ZSC] 会員募集中!!

資本と経営は「車の両輪」という当社の理念に共感いただいた株主の皆様と、まさに両輪としての関係を築くために設立されたゼンショーグループの応援団体です。

ゼンショーグループを共に育て、企業価値を高めることを目的としています。

ZSC会員特典

- ①「会員情報紙」の送付
- ②グループ店舗で使える「特別お試し券」(割引券)の送付
- ③ ZSC オリジナル商品の特別販売 (通販)

※詳細は「サポーターズクラブ入会案内申込みハガキ」をご覧ください。

〈お問合せ〉 ZSC事務局 TEL:0120-959-309 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本クリエイト	52,307	34.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,891	7.21
小川 賢太郎	3,170	2.10
小川 一政	3,160	2.09
小川 洋平	3,160	2.09
ゼンショーグループ社員持株会	2,802	1.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,455	1.63
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,699	1.12
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,424	0.94
株式会社SBI証券	925	0.61

1. 持株比率は自己株式(3,775,941株)を控除して計算しております。
2. 上記小川洋平氏の所有株式数には、2022年2月20日付で締結した管理信託契約に伴い、株式会社SMBC信託銀行が保有している株式数(2023年9月30日現在3,150,000株)を含めて表記しております。

株主メモ

事業年度	： 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	： 3月31日及び9月30日
定時株主総会	： 毎年6月開催
基準日	： 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	： 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	： 〒168-0063 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	： 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
単元株式数	： 100株
公告方法	： 原則として当社ホームページにて行います。電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。